校長室だより

真岡東中 校長室だより
Ｎｏ．３７
2018/03/13/Tue

修了式まであと１０日
戦国武将、上杉謙信49歳で没　1578年
英国天文学者、天王星発見　1781年
西郷隆盛・勝海舟江戸城無血開城合意　1936年
青函トンネル開通　1988年

チームひがし…生徒・教職員・家庭へ向けての校長通信
真岡東中学校ホームページでも見ることができます！

平成29年度「第37回 卒業式」が無事に終了！

104名の卒業生に「卒業証書」を授与！
命を大切にして自分の花を咲かせ夢を切り拓こう！

～本校の先生方は「生涯の師」…ずっと応援しています～

３月９日(金)、真岡市長　石坂真一様をはじめ多くの御来賓の方々と保護者の皆様の御臨席のもと、卒業式が盛大に挙行できました。ありがとうございました。卒業生と別れゆく寂しさからか、涙雨の天候となってしまいましたが、卒業生１０４名は一人ひとりが喜びと感謝、惜別の思いを胸に、思い出多い学舎を巣立って行きました。

祝辞　市教育委員会の言葉をいただき、更に市議会議長や青木圭太ＰＴＡ会長から祝辞をいただきました。

その中で、**石坂真岡市長**は感動のあまり祝辞の内容を変更するほどでした。そして、日航ジャンボ機墜落事故に関連してＴＤＬの職員のエピソードを話され、笑顔の大切さやその力について涙を誘う感動の祝辞を述べてくださいました。

送辞　在校生代表の**中島知樹**さんが、卒業生の「常に先を行く姿勢は私たちの憧れでした」と、学校生活を共にした中で感じたことやお世話になったことに対して、感謝の気持ちと思い出とを感動的に堂々と述べました。そして、卒業生が「守り、創り上げてきた伝統を受け継ぎ、発展させていきます」の件では、在校生としての決意が表れていました。

答辞　卒業生代表の**青木宥菜**さんが「皆さんから温かいお言葉をいただき感謝と感激で胸がいっぱいです」と、感情を込めて３年間の数々の思い出と感謝の気持ちを述べました。感極まって涙声になりながらも「お父さん、お母さん、いつも私たちにたくさんの愛情を注いで本当にありがとう」と、自分の素直な思いを述べた件では、卒業生のみならず保護者や在校生の目も潤んでいました。「この学び舎で作った思い出、学んだ心の強さ、大切な仲間と育んだ絆を支えにどんな困難も乗り越えていきます」と締めくくる感動の答辞でした。

合唱　式歌「旅立ちの日に」を全校生で合唱しました。卒業生と在校生が心を一つにした最後の合唱に、全校生の心意気が伝わってきました。

最後には**卒業生全員が「さくら」を合唱**しました。涙をこらえ一つ一つの言葉をかみしめながら歌う卒業生の姿に、３年間の様々な思い出がよみがえり、厳粛な中にも感動のある素晴らしい卒業式となりました。

呼びかけ　クライマックスの「さくら」の合唱…その後、まだ会場にすすり泣く声が聞こえる中でのサプライズが、卒業生の呼びかけでした。各々が、精一杯の声を出して、感謝の気持ちを述べてくれました。

感謝　私は３年間、学校生活を共にできて幸せでした。３年生は部活動や多くの行事等で下級生の手本となる活躍をしてくれました。全力に悔いなしの姿が**感動**を生み、正しいことをやり抜こうとする**心意気**、仲間と手を取り合って心を一つにすれば強くなれるという**チーム東**の力を示してくれました。こんな３年生には、感謝の気持ちでいっぱいでした。

私から３年生に話せるのは最後なので、16歳でこの世を去らねばならなかった教え子の話をさせていただきました。これからが自分の人生のスタートという時に起きた事故…ご両親の無念さはもちろん、何よりも本人が一番悔しい思いだったでしょう。何をするにしても、自分の生命があってこそです。生きている限り自分が主人公である物語を続けることができる…だから、かけがえのない生命、親から授かった大切な生命を大切にして、まず自分の物語のスタートラインに立ってほしいというお願いをしました。くじけそうな時は、親、家族、友達や仲間、先生方が応援してくれるから！

私も、最後は言葉になりませんでしたが、自分の気持ちを込めて、式辞を述べさせていただいたつもりです。

本校の最高学年として示した卒業生の「**一緒懸命**」の姿は、確かな伝統として後輩に永く引き継がれることと思います。中学校の集大成である卒業式にふさわしい堂々とした態度で式に臨んでいた在校生も立派でした。

生徒と先生の信頼関係が築かれていることが感じられ、ここに**「チーム東」の実力を見た思い**でした。

本当に、ありがとうございました！